

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

日々の行動の基本となる考え方が正しくなければならない 松本 晃 (カルビー会長兼CEO)

1. 私は、経営で大事なことは「結論から考える」ことだと思います。企業にとっての結論は、どんな業種であれ売り上げと利益を増やすことでしょう。その結論につながる最も簡単でコストの少ない方法を考えればいいのです。私は会長になってすぐに、「仕事の棚卸し」という運動を始めました。これは社内の仕事を、①会社にとって良いことで現在実行しているもの、②会社にとって良いことなのにできていないもの、③すぐにやめた方がよいもの、の 3 つに分類し、①はそのまま継続する、②はすぐに始める、③はやめるというものです。
2. 重要なのは目標に最短で届く方法を探し続け、実行することなのです。私はデータが不要だと言っているわけではありません。科学的な経営は当然必要だと思っています。データの収集や分析が業績向上という企業にとって最大の目標に近づく方法になっているかを常にチェックしないとイケません。事後的にチェックするのではなく、経営陣や社員に、今手がけている自らの仕事が目標に向かっているかを意識してもらう必要があります。そのためには、日々の行動の基本となる考え方が正しくなければなりません。

(参考:「日経ビジネス」2013年9月9日号)

ワンポイント経営アドバイス

あらゆる仕事はこの考え方から

松本 晃 (カルビー会長兼CEO)

カルビー社員が基本にする「松本の考え方」

1. Commitment & Accountability (約束と結果責任)
(仕事はすべて約束。その結果に責任を取る)
2. One Dollar Out
(会社のお金を 1 ドルでも私用に使った、クビ)
3. 全てのコストは顧客が負担
(接待ゴルフ代、広告宣伝費、本社費、…すべてお客のお金で賄われている)
4. 報告の 3 原則 (①トラブルはすぐ報告せよ、②悪いことから報告せよ、③ウソをつくな)
(問題はこの 3 つの原則に報告を。報告したら怒るな。ほめろ。さもないと報告しなくなる)
5. 業務の 3 原則 (①簡素化、②透明化、③分権化)
(会社が弱くなるのは簡素化、透明化、分権化の逆に行った時だ)

(参考:「日経ビジネス」:2013年9月9日号)

経営者のための理念・哲学

道を深める

1. 京都大学元総長・平澤興^{ひらざき たくあき}氏にこんな言葉がある。「努力をすることの本当の意味は、人に勝つということではなく天から与えられた能力をどこまで発揮させるかにある」。道を深めた人の言葉は、それぞれに味わい深い。仕事は道の追求である。一つの道を深めることで人は自己を深め、人生を深めていく。
2. では、道を深めるにはどうすればよいか。まず第一は、道を深めようと決意することである。決意しない限り、道は深まらない。第二は、優れた先達を見つけることである。人ではなく古教に触れ、求道を深めた人もいる。第三は、続けることである。「中庸」にある「悠久^{ゆうきゆう}は物を成す所以^{ゆえん}なり」は、古今不変の鉄則である。

(参考:「致知」2013年11月号)

古典に学ぶ

軍隊の本質

(解説) 武器は不吉な道具だ。それは、片寄ったはたらきしか持たない。だから「道」を体得した聖人は、武器を使わない。したがって、戦^{いくさ}に勝っても、名誉とは考えない。それを名誉と考える者は、生まれついての人殺しである。祝い席では左を上位とし、葬儀の席では右を上位とする。それが世間の習慣だ。ところが軍隊では、副将軍が左に坐り、大將軍は右に坐る。つまり軍隊は、つねに葬儀の作法になっているわけだ。人を無数に殺すがために、戦に勝っても、喪に服し、悲しみの涙を注ぐ。これが軍隊本来の姿なのだ。

(参考:奥平卓・大村益夫訳「老子・列子」:徳間書店)